

進路だより

県立向の岡工業高等学校 定時制総合学科
学習支援グループ 令和2年12月11日発行（第178号）

Classroomでも配信しています。

【全年次】

指定校推薦にて四年制大学に1名合格

聖学院大学 人文学部欧米文化学科

聖学院大学人文学部欧米文化学科（埼玉県上尾市）に1名合格しました。大学に入るには様々な方法がありますが、今回は「指定校推薦」という方法で合格しました。

進学をする際に気を付けて欲しい点がいくつかあります。今後進学を検討している生徒は、担任や進路担当の教員と相談し、よく考えて準備を進める必要があります。

（1）進学してもすぐに就職を考える必要がある

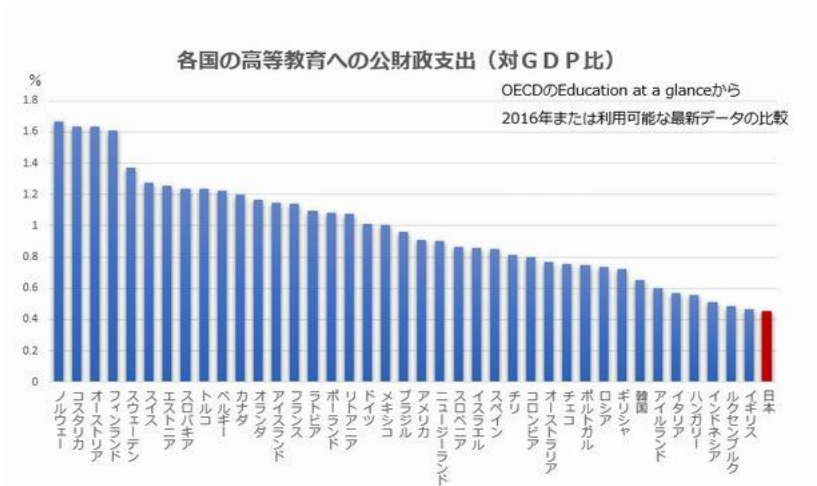
「働きたくないから進学したい」と、はっきり言う人は少ないですが、恐らくそのような理由で進学しようとする人は結構います。しかし、進学しても大学の学部卒であれば4年後には社会に出て働く必要があります。“最終的には働く”ということ認識し、「大卒」「短大卒」「専門学校卒」となって卒業する際にどのような職業に就くのか事前にイメージすることが大切です。

（2）学費の問題

日本では高等教育を受ける場合の個人負担の割合が高いという特徴があります。学習意欲が高いにも関わらず、残念ながら経済的な問題から進学を断念するケースが相次いでおり、問題として指摘されています。

グラフ「各国の高等教育への公財政支出（対GDP比）」をみると、高等教育に必要な費用への税負担割合が低く、不足分の多くが大学に進学する生徒・保護者の個人負担につながっていることがわかります。

このような問題から、最近になってようやく「給付型奨学金」も拡大されてきました。しかし、決して十分な金額とは言えず、「貸与型奨学金」も活用せざる負えない状況が続いています。



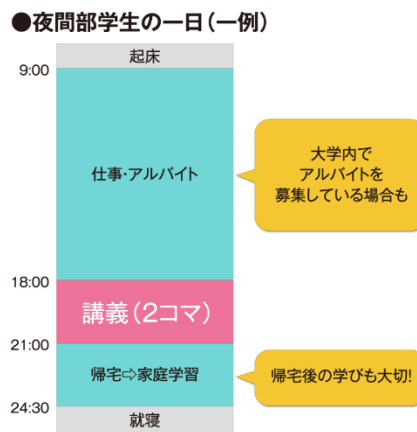
「貸与型奨学金」とは、わかりやすく言えば「借金」という意味です。「大学卒業後に無事に就職できる」「奨学金が返済できるくらい十分な収入が得られる」等の確証が全くない状況で多額の借金を背負うことになります。

多額の借金は大変なリスクを伴うため、慎重な判断が求められます。

(3) 比較的安い学費で学ぶ

学費をあまりかけずに学ぶ方法もあります。その一つとして「夜学」があります。

夜学では昼間の大学に比べて学費が安だけでなく、日中にはアルバイト等に取り組むこともできます。大学によっては、学内の仕事を紹介してくれることもあります。また、「夜学」の他に「単位制」の仕組みを取り入れている専門学校もあり、その学校では経済的に困難を伴う学生は年間の負担額を減らし、在学期間を延ばして卒業することができます。



(4) おすすめの入学方法「指定校推薦」「公募制推薦」「総合型選抜(AO入試)」

“大学に入る準備”と聞くと、「予備校に通って、夜遅くまで勉強して・・・」と考えてしまう生徒や保護者の方が今でもいます。

しかし、本校の卒業生が大学進学を考える場合、「推薦制度」を利用することが最も有効な方法と言えます。また、本校に限らず、全体的な大学入試の流れから見ても、推薦制度を活用する例は年々増えており、私立大学(平成29年度)の入試では一般入試で入学した学生の割合は48.5%です。つまり、残りの半数以上の学生は何らかの推薦制度を活用して入学したということがわかります。

推薦入試では高校生活においてどのような取り組みをしていたのかが問われます。

「学習に関する取り組み」(学校の成績、欠席数、資格、校外学習、就業体験等)、「社会とのかかわり」(ボランティア活動、地域での活動)、「仲間との協働」(学校行事、生徒会活動、部活動等)などへの取り組みが不足している場合にはぜひチャレンジしてほしいと考えています。

《出典》

各国の高等教育への公財政支出(対GDP比) <https://webronza.asahi.com/>

夜間部の学生の一(一例) <http://times.sanpou-s.net/> 文部科学省「平成29年度国公立大学入学者選抜実施状況」